

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 東大

上場会社名 青山商事株式会社

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員社長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員企画管理 本部長 (氏名) 宮武 真人

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	139,889	△6.1	7,609	△33.9	5,006	△45.4	1,231	△53.5
21年3月期第3四半期	148,998	—	11,508	—	9,170	—	2,649	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	19.38	—
21年3月期第3四半期	41.67	41.67

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	327,307	222,116	67.3	3,462.39
21年3月期	346,047	223,183	64.0	3,482.04

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 220,143百万円 21年3月期 221,397百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
22年3月期	—	20.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	194,700	△5.8	12,000	△32.9	8,800	△55.2	3,300	△53.3	51.90

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 67,394,016株 21年3月期 67,394,016株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,812,566株 21年3月期 3,811,467株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 63,581,819株 21年3月期第3四半期 63,582,691株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	160,700	△4.5	10,000	△33.2	7,400	△57.2	3,000	△52.0	47	18

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 紳士服販売事業〔青山商事(株)、カジュアルランドあおやま(株)、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商〕

① 当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）におけるわが国経済は、一昨年秋からの世界的な金融危機による景気低迷が続く中、輸出や生産に一部持ち直しの動きが見られるものの、企業収益は依然として厳しい状況で推移いたしました。個人消費につきましても、雇用環境の悪化や個人所得の低下などによる消費者心理の冷え込みから一段と厳しさを増しました。

このような状況下、青山商事(株)につきましては、一都三県を中心とした着実な出店、移転、建替を実施するなどマーケットシェアの拡大を図るとともに、お客様のニーズにお応えすべく、商品やサービスの向上などに努めました。また、客数増加を図るため、当第3四半期（10月～12月）では、価格訴求を中心とした「総力祭」や高付加価値商品を低価格で提供する施策などを実施いたしました。しかしながら、個人消費の低迷などによるスーツ需要の減少などから当第3四半期（10月～12月）の既存店売上高は前年同期比93.1%となり、累計（4月～12月）では前年同期比91.9%となりました。

なお、当第3四半期（10月～12月）の3ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比98.3%の735千着となり、累計（4月～12月）では前年同期比95.8%の1,747千着となりました。

② カジュアルランドあおやま(株)につきましては、当第3四半期（10月～12月）の既存店売上高は前年同期比83.3%となり、累計（4月～12月）では前年同期比85.7%となりました。

③ 店舗につきましては、当第3四半期（10月～12月）に「洋服の青山」において10店舗を出店（内3店舗は移転・建替）いたしました。また、「ザ・スーツカンパニー」において2店舗を出店（内1店舗は移転）し、非効率な1店舗を閉店いたしました。

この結果、第3四半期末の紳士服販売事業の店舗数は下記のとおりであります。

（単位：店）

業態名	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ザ・スーツカンパニーズウィークエンド	キャラジャ	合計
店舗数	736	31	5	12	30	814

④ こうしたことから、当第3四半期（4月～12月）までの紳士服販売事業の売上高は1,172億77百万円（前年同期比94.3%）、既存店売上高は前年同期比91.7%となり、予想を下回る状況となっておりますが、営業利益につきましては、チラシ経費を効率的に使用するなど経費削減に努めた結果、ほぼ予想通りの推移となっております。

(2) その他事業

その他事業につきましてはほぼ予想通りの状況となっております。

(3) 連結経営成績

上記の結果、当第3四半期（4月～12月）までの当社グループにおける売上高は1,398億89百万円（前年同期比93.9%）、営業利益は76億9百万円（前年同期比66.1%）となり、売上高では若干予想を下回りましたが、営業利益においては概ね予想通りとなっております。

経常利益は、「包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）」等に係るデリバティブ評価損26億35百万円を営業外費用として計上したことなどにより50億6百万円（前年同期比54.6%）となりました。

特別損失では、紳士服販売事業等において減損損失14億42百万円、店舗の閉店・移転等に伴う固定資産除売却損5億58百万円を計上いたしました。

この結果、当四半期純利益は12億31百万円（前年同期比46.5%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産について流動資産は1,646億41百万円となり、前期末と比べ204億64百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金が59億1百万円、受取手形及び売掛金が10億59百万円、商品及び製品が18億10百万円、営業貸付金が90億59百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は1,626億65百万円となり、前期末と比べ17億24百万円の増加となりました。これは主として、投資その他の資産が20億40百万円減少いたしましたが、有形固定資産が34億29百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は3,273億7百万円となり、前期末と比べ187億39百万円の減少となりました。

負債について流動負債は616億28百万円となり、前期末と比べ179億40百万円の減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が36億95百万円、短期借入金が91億5百万円、未払金が28億57百万円、未払法人税等が35億62百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は435億63百万円となり、前期末と比べ2億67百万円の増加となりました。

この結果、負債合計は1,051億91百万円となり、前期末と比べ176億72百万円の減少となりました。

純資産合計については2,221億16百万円となり、前期末と比べ10億67百万円の減少となりました。これは主として、利益剰余金が17億40百万円減少したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

本資料の発表日現在におきましては、平成21年11月10日に発表した連結業績予想を変更しておりません。なお、業績予想におけるデリバティブ評価損益につきましては、平成22年3月末の為替相場、日米金利差が平成21年9月末と不変であるとの前提のもとに通期で27億10百万円のデリバティブ評価損（営業外費用）を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,887	34,788
受取手形及び売掛金	10,198	11,257
有価証券	26,360	26,756
商品及び製品	41,637	43,447
仕掛品	30	55
原材料及び貯蔵品	485	462
営業貸付金	50,980	60,039
その他	6,864	9,226
貸倒引当金	△804	△929
流動資産合計	164,641	185,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	123,163	117,449
減価償却累計額	△60,962	△59,002
建物及び構築物（純額）	62,201	58,446
土地	33,135	—
その他	18,597	52,565
減価償却累計額	△9,631	△10,139
その他（純額）	8,965	42,425
有形固定資産合計	104,302	100,872
無形固定資産	2,202	1,867
投資その他の資産		
敷金及び保証金	29,663	31,172
その他	26,551	27,085
貸倒引当金	△53	△56
投資その他の資産合計	56,161	58,202
固定資産合計	162,665	160,941
資産合計	327,307	346,047

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,282	18,977
短期借入金	5,205	14,310
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,342	4,904
賞与引当金	345	1,292
その他	29,453	30,084
流動負債合計	61,628	79,569
固定負債		
社債	19,000	20,000
長期借入金	15,480	13,665
退職給付引当金	3,371	3,241
ポイント引当金	2,683	2,981
その他	3,027	3,407
固定負債合計	43,563	43,295
負債合計	105,191	122,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,975	62,975
利益剰余金	124,624	126,365
自己株式	△12,247	△12,245
株主資本合計	237,857	239,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△82	△398
繰延ヘッジ損益	—	△64
土地再評価差額金	△17,631	△17,739
評価・換算差額等合計	△17,714	△18,203
新株予約権	203	123
少数株主持分	1,769	1,662
純資産合計	222,116	223,183
負債純資産合計	327,307	346,047

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	148,998	139,889
売上原価	66,075	63,644
売上総利益	82,922	76,245
販売費及び一般管理費	71,414	68,636
営業利益	11,508	7,609
営業外収益		
受取利息	350	357
受取配当金	124	150
不動産賃貸料	—	276
その他	667	478
営業外収益合計	1,142	1,262
営業外費用		
支払利息	91	242
デリバティブ評価損	3,331	2,635
為替差損	—	868
その他	56	119
営業外費用合計	3,479	3,864
経常利益	9,170	5,006
特別利益		
固定資産売却益	5	25
貸倒引当金戻入額	—	28
特別利益合計	5	53
特別損失		
減損損失	1,804	1,442
固定資産除売却損	1,169	558
投資有価証券評価損	914	—
特別損失合計	3,887	2,001
税金等調整前四半期純利益	5,288	3,059
法人税等	2,508	1,661
少数株主利益	129	165
四半期純利益	2,649	1,231



(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。

「参考資料」

四半期財務諸表

- (1) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビューの対象ではありません。
- (2) 「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に従い四半期財務諸表を作成しております。

① 四半期貸借対照表

区分	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)		前事業年度末に係る 貸借対照表 (平成21年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金	21,267		26,341	
2 有価証券	26,360		26,557	
3 商品及び製品	37,832		39,891	
4 原材料及び貯蔵品	288		277	
5 関係会社短期貸付金	22,000		32,000	
6 その他	12,028		15,499	
貸倒引当金	△3		△4	
流動資産合計	119,773	42.2	140,562	46.5
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物	99,162		93,457	
減価償却累計額	△49,404	49,758	△47,674	45,782
(2) 土地		32,183		30,426
(3) その他	37,694		38,409	
減価償却累計額	△19,488	18,205	△18,193	20,216
有形固定資産合計		100,147		96,425
2 無形固定資産		1,914		1,545
3 投資その他の資産				
(1) 敷金及び保証金		28,876		30,366
(2) その他		33,000		33,593
貸倒引当金		△41		△45
投資その他の資産合計		61,835		63,914
固定資産合計		163,896	57.8	161,884
資産合計		283,670	100.0	302,447

区分	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	11,137		15,186	
2 短期借入金	—		10,000	
3 未払法人税等	1,100		4,397	
4 賞与引当金	294		1,128	
5 その他	29,731		30,362	
流動負債合計	42,264	14.9	61,074	20.2
II 固定負債				
1 長期借入金	10,000		8,000	
2 社債	10,000		10,000	
3 退職給付引当金	3,209		3,095	
4 ポイント引当金	2,666		2,970	
5 その他	2,603		2,992	
固定負債合計	28,478	10.0	27,057	8.9
負債合計	70,743	24.9	88,131	29.1
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	62,504		62,504	
2 資本剰余金	62,975		62,975	
3 利益剰余金	117,017		118,976	
4 自己株式	△12,247		△12,245	
株主資本合計	230,250	81.2	232,210	76.8
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券 評価差額金	△83		△398	
2 繰越ヘッジ損益	—		△64	
3 土地再評価差額金	△17,444		△17,556	
評価・換算差額等合計	△17,527	△6.2	△18,019	△5.9
III 新株予約権	203	0.1	123	0.0
純資産合計	212,926	75.1	214,315	70.9
負債純資産合計	283,670	100.0	302,447	100.0

② 四半期損益計算書

区分	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	
I 売上高		119,565	100.0	114,149	100.0
II 売上原価		49,480	41.4	48,256	42.3
売上総利益		70,084	58.6	65,893	57.7
III 販売費及び一般管理費		61,516	51.5	60,017	52.6
営業利益		8,568	7.1	5,875	5.1
IV 営業外収益					
1 受取利息配当金	736			926	
2 不動産賃貸料	373			451	
3 その他	299	1,408	1.2	336	1,714
V 営業外費用					
1 支払利息	57			215	
2 デリバティブ評価損	3,298			2,607	
3 為替差損	—			867	
4 その他	18	3,375	2.8	104	3,796
經常利益		6,601	5.5		3,793
VI 特別利益					
1 固定資産売却益	4	4	0.0	25	25
VII 特別損失					
1 固定資産除売却損	1,138			530	
2 減損損失	1,684			1,191	
3 投資有価証券評価損	914	3,736	3.1	—	1,722
税金等調整前四半期純利益		2,870	2.4		2,095
法人税等		1,416	1.2		1,081
四半期純利益		1,453	1.2		1,014